

令和5年度 胆沢愛宕地区地域未来塾 「HOP!STEP!!あたご塾」事業報告書

1 事業概要

- (1) 実施期間 令和5年12月25日・26日・27日・28日、令和6年1月4日・5日の6日間
午前10時～午後3時
- (2) 実施場所 胆沢愛宕地区センター、トレーニングセンター
- (3) 参加人数 実人数5名（対象生徒16名中）、延べ人数27名
- (4) 学習支援員 胆沢地域在住の教員OB5名、大学生1名
- (5) 活動内容 学習、体験事業、レクリエーション

2 活動スケジュール

	12月25日 (MON)	12月26日 (TUE)	12月27日 (WED)	12月28日 (THU)	1月4日 (THU)	1月5日 (FRI)
10:00	開講式					
10:15	朝の会					
12:00	オリエンテーション (レク)	学習 (英語)	学習 (英語)	学習 (英語)	学習 (理科)	学習 (理科)
13:00	【昼食・休み時間】					
14:40	学習 (数学・社会)	学習 (社会)	学習 (数学・社会)	学習 (数学)	学習 (数学)	体験事業 (スカットボール)
	掃除・帰りの会 (15:00 解散)					掃除・閉講式

3 活動の様子

(1) 学習

自学自習の形態で実施し、1コマあたり2～3名の学習支援員が学習の指導、見守りを担った。ほぼ毎時間、地域未来塾OBの高校生が参加し、参加生徒に学習指導をする場面も見られた。参加者は最も少なく、1人しか参加しない時間帯もあったが、その分集中して学習支援員からの手厚いサポートを受けられたのではないかと。参加生徒からは、「いつもは苦手な英語は後回しだったけど、あたご塾のおかげで早めに終わらせることができた。」という感想が出ており、学習支援員からのサポートを十分に受け、苦手教科の学習に取り組めたようだった。また、学習の時間が終わり、片付けの際には「勉強する時間があつという間だった」と言っていた生徒もおり、学習の時間が生徒にとって有意義なものになったのではないかと。



(2) レクリエーション・体験事業

初日の午前には、参加者の交流を深めることを目的にレクリエーションを行った。生徒2名、学習支援員2名、地域未来塾OB1名、職員1名が参加し、県南教育事務所の佐々木社会教育主事が講師となって行った。最初は生徒たちに緊張が見られたが、だんだん打ち解け、学習支援員とも協力してレクリエーションに参加していた。

最終日の午後には体験事業として、愛宕地区振興会の企画でスカットボールを行った。生徒1名、学習支援員4名、地域未来塾OB1名が参加した。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・参加した生徒は集中して学習に取り組んでおり、時折お互いに教え合う姿も見られた。学習の時間が経つのが早いと感じた生徒もいたため、有意義な時間の使い方ができたと考えられる。
- ・生徒アンケートから、「苦手な教科の課題を早めに終わらせることができた」という回答があり、実際の学習の時間でもわからない所を専門の学習支援員が手厚くサポートしていたことから、学力向上や学習意欲の向上につながった。
- ・保護者からも、学習面や地域の方々との交流について肯定的な意見が多く見られた。「子どもが集中して学習できたようだった」「中学校まで冬の送迎手段がないため、地区センターでこのような活動があるのは助かる」といった感想をいただき、昨年度の課題であった交通手段の課題を解決できた。

(2) 課題

- ・生徒、保護者、学校からも継続した実施が望まれており、持続可能な事業の実施体制の構築を図ること。
- ・地域に根ざし、地域の教育力を生かした事業にするため、地域住民、高校生が事業に参画する機会を設けること。
- ・参加人数の増加につながる事業周知方法と、学校との協働を図ること。